

商店街の活性化

商店街での取り組みは以下の通りです。

采女祭りへの参加（9月）

9月に商店街で開かれた采女祭りに本学の学生が参加し、商店街の方々と共にお祭りを盛り上げました。このお祭りは、采女伝説に基づいたもので、本学の学生は采女が着ていたといわれる衣装をまとい、スタンプラリー参加者に道案内等をしました。

留学生を対象とした公共交通バリア調査（11月）

奈良の商店街には多くの観光客が来訪します。ところが、外国人にとって公共交通手段は必ずしも使いやすいものとはなっていません。そこで大阪に住む留学生を対象に、大阪から鉄道を使って奈良に来訪してもらい、奈良の中心部にある商店街、観光地をバスに乗って訪問してもらいました。その上で、外国人にとって、公共交通を利用する上で、どのような不便があるかをアンケート、インタビューで調査しました。

商店街出張講義（11月、12月）

商店街活性化に関する授業を商店街内にあるもちいどのプラザで実施しました。履修している学生以外に、商店街の方や市民にも公開して実施しました。3回実施し、外部からゲストスピーカーを招き興味深い授業を行ってもらいました。ゲストスピーカーとテーマは以下の通りです。

11月29日：安藤宣夫氏（西新道商店街理事長）「京都西新道商店街、活性化への挑戦」

12月6日：稲葉水穂氏（奈良県中小企業課主査）「商店街活性化について、他府県・県内の事例から」

12月13日：魚谷和良氏（奈良もちいどのセンター街協同組合副理事長）「もちいどの商店街の歴史と現状・課題」

商店街大売り出しへの参加（12月）

12月にもちいどの商店街で大売り出しがあり、抽選会も行われました。そこで商店街と共同でアンケート表を作成し、抽選に来た消費者に学生がアンケート調査を行いました。今後、商店街の方と共にデーターを分析し、来年度の大売り出しの改善に生かす予定です。

保育所の設計課題（1月）

もちいどの商店街に空き店舗があります。そこを仮想の敷地として「商店街に建つ保育所」の課題を設定しました。設計に取り組んだのは2回生の学生です（設計演習Ⅰ）。

留学生を対象とした商店街バリア調査（2月）

多くの外国人観光客が奈良の商店街で買い物をします。ただ、日本人とは違い必ずしも商店街が使いやすいとは限りません。そこで、本学留学生の協力を得て、実際に商店街で買い物をしてもらい、商店街のどこが不便であるかなどをアンケート及びインタビューで調査しました。



商店街出張講義



商店街出張講義



大売り出しでのアンケート調査